

④ 財源の確保

業務量に応じた職員配置を行いながら引き続き定員適正化に努め、市税等の収納率の向上や公有財産の売払いなど財源の確保を図るとともに、将来を見据えた地方債の縮減に取り組みます。

これらの取り組みを通じて、健全で持続可能な財政基盤の確立に努め、行政改革の取り組みで生み出した財源は、合併から10年経過後から始まる地方交付税削減への備えや市民サービスの向上に活用します。

◆ 本庁や支所でご覧いただけます

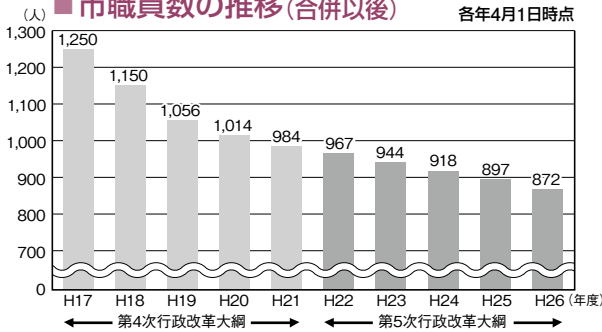
行政改革の平成25年度の実績、平成26年度の目標は、本庁1階市民コーナーと各支所でご覧いただけます。また、**市ホームページ**でもご覧いただけます。

<http://www.city.takayama.lg.jp/soumu/gyoukakaku.html>

問合せ先

総務課
☎ 35-3133

■ 市職員数の推移(合併以後)



市公文書館



飛騨高山観光案内所

市民サービスの維持向上やコスト縮減を図るため指定管理者制度を導入しました

■ 数値目標に対する実績

項目	計画当初(H22)	年度別実績		H25年度末	目標達成率	目標値
		H22～H24年	H25年度			
職員数	967人	△70人	△25人	872人(△95人) (H26年度当初)	56.9%	800人 (H27年度当初)
人件費削減額	—	2億2千万円	2億6千万円	4億8千万円	48.0%	10億円 (H21-H26比較)
人件費削減効果額(※)	—	7億8千万円	3億2千万円	11億円	36.7%	30億円 (5年間の効果額)
地方債残高	933億円	△149億円	△50億円	734億円 (△199億円)	108.7%	750億円 (H26年度末)

※人件費削減効果額…各年度の人件費削減額が計画期間中にどの程度効果があるかを表したものと

消防団員を募集しています



消防団員は非常勤特別職の地方公務員です。また、消防団員はそれぞれがさまざまな職業や組織に属しているため、世代や組織をこえた人々のつながりを持てる人材の宝庫です。

各地で災害が起こる中、消防団員は地域防災の要として必要とされています。大切な地域で活躍いただける心意気のある方(18歳～50歳)の入団をお待ちしております。

問合せ先 消防総務課 ☎ 34-3792



なお、消防操法大会は、迅速で的確な消防技術の維持向上と団員の士気高揚を図ることを目的に、毎年開催されています。

問合せ先

消防総務課 ☎ 34-3792



優勝した丹生川支団のみなさん

市消防操法大会が6月15日、国府スポーツ公園多目的グラウンド(国府町木曾垣内)で行われ、小型ポンプ操法に8隊が出場し、丹生川支団が優勝しました。優勝した丹生川支団は8月3日に白川村で開催される県大会に市代表として出場します。

結果 優勝 丹生川支団
準優勝 久々野支団
3位 一之宮支団

優勝は丹生川支団

第10回 高山市消防操法大会